

中学公民プリント（過去問類似）

金融と日本銀行

名前

得点

/10

問1 景気や物価の安定を図るため、中央銀行である日本銀行が、市場を流れる通貨の量や金利を調整する取り組みを何と呼びますか。 (2020年 山形公立入試 類似)

1. 金融政策 2. 財政政策 3. 所得再分配政策 4. 経済成長戦略

問2 企業から家計に向かって「株式・債券」の流れがあり、その対価として家計から企業へ「資金」が流れる状況において、この金融の仕組みと中央で仲介を担う組織の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 岡山公立入試 類似)

1. 仕組みは直接金融であり、証券会社が仲介する 2. 仕組みは間接金融であり、銀行が仲介する 3. 仕組みは直接金融であり、日本銀行が仲介する 4. 仕組みは間接金融であり、証券会社が仲介する

問3 家計から銀行などの金融機関へ預金が行われ、その資金を金融機関が企業に貸し出す「間接金融」に対し、家計が証券市場を通じて企業に直接資金を供給する「直接金融」の特徴を説明したものと、最も適切なものはどれか。 (2018年 徳島公立入試 類似)

1. 金融機関が仲介役となり、預金者の代わりに貸付先の審査やリスク管理を行う。 2. 企業が株式などを発行し、金融機関を介さずに投資家から資金を直接募る。 3. 日本銀行が通貨供給量を調整することで、市場全体の金利に影響を与える。 4. 政府が公共事業を行うために、国債を発行して家計から広く資金を集める。

問4 日本銀行が景気回復を目的として、民間の金融機関が保有する国債を買い入れることで、市場に流通する通貨の量を増やす政策を何といいますか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

1. 売りオペレーション 2. 買いオペレーション 3. 預金準備率操作 4. マイナス金利解除

問5 レジでの支払いや商品の売買に用いられる紙幣は、日本の中央銀行によって発行されています。この紙幣を発行する権限を持つ唯一の機関として正しいものを選択してください。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 日本銀行 2. 造幣局 3. 財務省 4. 日本政策金融公庫

問6 現代の経済における資金の供給ルートについて、家計が株式や社債を購入することで、証券市場を介して直接企業に資金が流れる仕組みを「直接金融」と呼びます。この「直接金融」で用いられる具体的な手段の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。 (2018年 徳島公立入試 類似)

1. 株式・社債 2. 普通預金・定期預金 3. 税金・補助金 4. 保険料・年金

問7 不況（景気後退）の際、日本銀行が景気回復を図るために行う金融政策として、日本銀行が一般の銀行に対してとる行動と、それによって生じる市場の変化の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

1. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い上げ、市場に流通する資金量を増やす。 2. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場に流通する資金量を増やす。 3. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い上げ、市場に流通する資金量を減らす。 4. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場に流通する資金量を減らす。

問8 日本の中央銀行である日本銀行は、私たち個人や一般の企業と直接取引を行うことはありませんが、民間の銀行（一般の銀行）に対しては資金の貸し出しや預金の受け入れを行っています。このような役割を何と呼びますか。 (2020年 香川公立入試 類似)

1. 政府の銀行 2. 銀行の銀行 3. 発券銀行 4. 市中銀行

問9 企業が直接金融の手段として「株式」と「社債」を発行する場合、その性質の違いに関する説明として正しいものはどれですか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)

1. 株式は返済の義務がない資金であり、社債はあらかじめ決められた期限に元本を返済し利子を支払う必要がある資金である。 2. 株式は銀行から借り入れた負債のことであり、社債は企業の利益を内部に蓄積したものである。 3. 株式を購入した投資家には経営に参加する権利が与えられないが、社債を購入した投資家には株主総会での議決権が与えられる。 4. 株式は企業が倒産した際に優先的に払い戻されるが、社債は企業の所有権を表すため払い戻しの優先順位が最も低い。

問10 銀行などの金融機関が、家計や企業から預金などの形で集めた資金を、資金を必要とする企業などに貸し出す金融の仕組みを何といいますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)

1. 間接金融 2. 直接金融 3. 公開市場操作 4. 財政投融資

答え合わせ・解説

問1	答え 1 金融政策	日本銀行が通貨の番人として、経済状況に応じて通貨の供給量（マネタリーベース）をコントロールすることを指します。政府が予算を通じて行う「財政政策」と混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 1 仕組みは直接金融であり、証券会社が仲介する	家計（投資家）が企業の成長を期待して株式などを購入し、企業がその資金を用いて事業を行う流れは直接金融に該当します。この市場において、取引の場を提供したり、売買を仲介したりするのは証券会社の役割です。銀行が預金者から集めた資金を自らの判断で企業に貸し出す間接金融との違いを理解することが重要です。
問3	答え 2 企業が株式などを発行し、金融機関を介さずに投資家から資金を直接募る。	直接金融は、資金の余っている家計などが、資金を必要としている企業に対して、金融機関を通さずに資金を供給する点に特徴があります。この方式では、投資に伴うリスクは投資家（家計など）が負うこととなりますが、企業にとっては銀行の意向に左右されず、広く市場から資金を集められるメリットがあります。
問4	答え 2 買いオペレーション	不況の際、日本銀行が市場の通貨量を増やして景気を刺激するために行う手法です。日本銀行が一般の銀行から国債を買い取り、その代金を支払うことで、銀行が企業や個人に貸し出せる資金を増やします。この一連の動きにより、世の中に出回るお金の量（マネーストック）が拡大します。
問5	答え 1 日本銀行	日本銀行は日本の中央銀行であり、国内で流通する紙幣（日本銀行券）を独占的に発行する「発券銀行」としての役割を担っています。混同されやすい造幣局は、紙幣ではなく硬貨（貨幣）を製造する機関です。日本銀行は、通貨の供給量を調節することで物価の安定を図る重要な役割を果たしています。
問6	答え 1 株式・社債	直接金融は、企業が発行する有価証券を家計などが直接買い取ることで成立します。代表的なものに、出資の証券である「株式」や、企業が借入のために発行する債券である「社債」があります。一方で、預金を通じて銀行が企業に貸し付ける形態は間接金融に分類されます。
問7	答え 1 日本銀行が一般の銀行から国債を買い上げ、市場に流通する資金量を増やす。	不況のときには、世の中に出回るお金の量を増やして経済を活性化させる必要があります。日本銀行が一般の銀行が持っている国債を買い上げることで、その代金が銀行に支払われ、結果として市場に流通する資金量が増加します。これにより、企業や個人が銀行からお金を借りやすくなり、景気を向上させる効果が期待されます。これを買いオペレーションと呼びます。
問8	答え 2 銀行の銀行	日本銀行は、民間の金融機関（一般の銀行など）を相手に、資金が不足している際に貸し付けを行ったり、余剰資金を預金として受け入れたりする役割を担っています。これを「銀行の銀行」と呼びます。個人が日本銀行に口座を作ることはできませんが、銀行同士の決済や、金融システムの安定のためにこの機能が使われています。
問9	答え 1 株式は返済の義務がない資金であり、社債はあらかじめ決められた期限に元本を返済し利子を支払う必要がある資金である。	直接金融において、株式は企業が「自己資本」として調達するものであり、原則として返済の義務はありません。その代わりに投資家には配当や議決権が与えられます。一方で社債は企業が発行する債券であり、投資家にとっては貸付金のような性質を持つため、企業は満期時に元本を返済し、一定の利子を支払う義務を負います。
問10	答え 1 間接金融	家計（貸し手）が銀行などの金融機関に預金し、その金融機関が自らの判断で企業（借り手）に融資を行う形態を指します。貸し手と借り手の間に金融機関が介在するため、資金の流れが「間接的」であることからこの名称で呼ばれます。